



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 248  
November  
2013

## トピックス

### 国際会議への参加

アジア太平洋地域の「災害からの回復力」のためのデータに関する専門家会合への参加

### メンバー国との防災協力推進

ラオスにおける学校での防災教育の推進事業

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

### ●国際会議への参加

#### アジア太平洋地域の「災害からの回復力」のためのデータに関する専門家会合への参加

世界で最も自然災害が頻発するアジア太平洋地域において、事実関係に基づく政策や計画の策定を通じ「災害からの回復力」を高めるためには、災害に関する客観的データの存在が不可欠ですが、残念ながらアジア太平洋地域全体としては、災害に関する信頼性の高いデータが不足しているのが現状です。国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）は、これら目的に見合う災害データ及び統計に係る基本方針を議論するため、2013年9月30日から10月1日の間、仙台市の東北大学キャンパスにおいて、当該分野に関する専門家の会合を主催し、国内外の中央政府・研究機関・国際機関等から40名が参加しました。アジア防災センター（ADRC）からは所長、主任研究員及びメンバー国からの客員研究員合計6名が出席しました。

会合においては、国・地域レベルにおける災害統計やデータベースの現状が紹介されました。ADRCからは、2002年以来推進している、世界の災害に対して共通の記号を割り当てる「世界災害共通番号（GLIDE）」の取組みについて紹介しました。これにより、大規模台風・津波等同一の原因により複数国に被害が生じた場合も災害の全容の把握等が可能となっています。

会合の結果、災害対策の「主流化」（開発政策等において災害対策が十分配慮されること）のためには正確な災害統計・データベースが不可欠であり、2015年以降の災害対策の国際的枠組み「HFA2」における重要政策として位置づけるべきとされました。このため、コアメンバーを招集してさらに検討を進めることとなり、ADRCもその一員に加わることとなりました。



## ●メンバー国との防災協力推進 ラオスにおける学校での防災教育の推進事業

ラオスのビエンチャンにおいて、「学校での防災教育の推進」事業における模擬授業とセミナーが、2013年11月14日と15日に開催されました。このワークショップはラオス国の教育省と連携し開催され、小学校高学年と中学校から、教員約30名、生徒約60名が参加しました。

まず14日は、教師や専門家そしてADRCの職員を交えて、ラオスにおける災害の状況や防災教育事情について確認を行いました。また、翌日学校で開催される講義内容について意見交換を行い、講義準備等の作業を進めました。翌日15日には、教師たちは前日開催された教員研修の講義に基づいて、首都ビエンチャンにある学校において、生徒たちに対して自然災害に関する基礎知識の講義を行いました。ラオスで課題となっている洪水、地滑り、火事について説明や実習が行われ、生徒たちはとても感心していました。最後に、活動全体を通して教員から意見収集を行い、防災教育のさらなる普及や強化を図りたいなどの意見がありました。

今回得られた成果が、ラオス全土を通じて広がることを期待します。

(本プロジェクトは日本アセアン統合基金プロジェクトの1つであり、アセアン10カ国において学校での防災教育を推進するための教員研修や研修を受けた教員による模擬授業の実施等を目的としたものです。)



### 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は  
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。